

あ、ここにも。

LECIP



レシップ株式会社

2007年 3月期 決算説明会

2007年 5月29日

JASDAQ
【証券コード:7213】



目次

1. 会社概要

2. 事業内容

3. 2007年3月期 決算概要

4. 事業戦略の概要

5. 2008年3月期 業績見通し



会社概要

- 会社名：レシップ株式会社
- 代表者：代表取締役社長 杉本 眞
- 設立：1953年3月
- 所在地：岐阜県本巣市
- 事業内容：バス・鉄道・自動車用電装機器、
サイン&ディスプレイ関連機器、
産業機器の製造・販売
- 資本金：7億3,564万円(2007年3月現在)
- 従業員数：522名(連結正社員数 2007年3月現在)
- 連結子会社：レシップ電子株式会社
THAI LECIP CORPORATION LIMITED
LECIP U.S.A., INC.



経営理念 / 経営の基本方針

■ 経営理念

「省エネルギー」「地球環境対応」「セキュリティ強化」を通じて
快適な日常を実現するための製品・サービスを提供する。

■ 経営の基本方針

「輸送機器」、「S&D」、「産業機器」の3つのコア事業により
収益基盤の安定化を図るとともに着実な成長をめざす。



目次

1. 会社概要

2. 事業内容

3. 2007年3月期 決算概要

4. 事業戦略の概要

5. 2008年3月期 業績見通し



事業の特徴と強み

技術開発先行型

ニッチな市場分野に
特化

ニーズに対する
柔軟な対応

豊富な製品
ラインアップ



各事業分野で、**トップシェア**を獲得



3つのコア事業

輸送機器事業

S&D(サイン&ディスプレイ)事業

産業機器事業

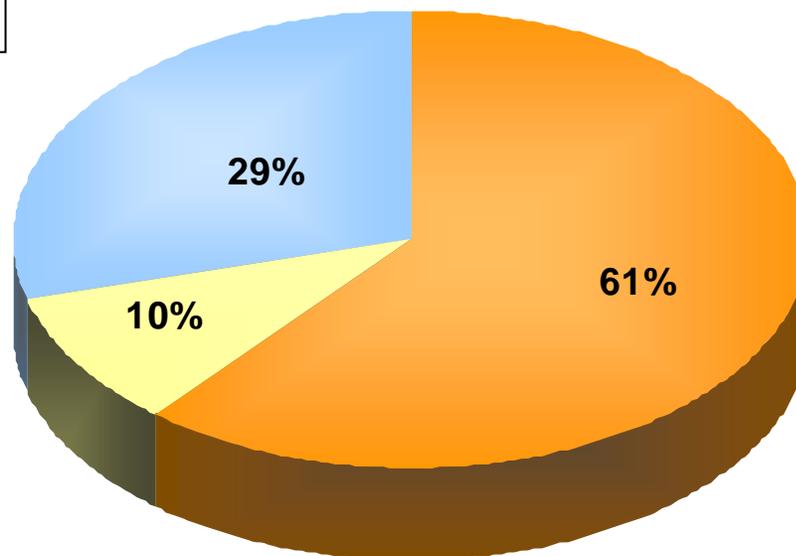
◆2007年3月期 事業部門別売上高

連結売上高:17,572百万円

輸送機器

S&D

産業機器





- バス市場
- 鉄道市場
- 自動車市場



バス市場

ICカードリーダー付
運賃箱



ICカードリーダー



ICカードリーダー付
整理券発行器



液晶表示器



LED式行先表示器



デジタル運賃表示器



室内灯



降車信号装置



■ 当社の主力製品

- 連結売上高の約50%がバス市場向け製品

■ 国内唯一のバス用電装機器 トータルサプライヤー

- 各機器のシステム連動化に強み
- ワンストップソリューションの提供

■ バスカードシステム、LED式行先表示器、 デジタル運賃表示器、室内灯等で、 トップシェアを獲得

■ 拡大が続く、バス用ICカードシステム ● 首都圏をはじめ、全国のバス会社様へ拡販中



鉄道市場

ワンマン鉄道用
システム機器
(対面式運賃箱)



鉄道車両用蛍光灯



簡易型
券売機



■ バス搭載機器の技術を応用した
鉄道市場向け製品群

■ ワンマン鉄道用システム機器で、
トップシェアを獲得

■ 国内で初めて、車内設置型非接触
ICカード運賃精算システムを製品化

■ 振動、電圧変動、車内温度の変化、
メンテナンス性を考慮

車内設置型
ICカード運賃精算システム



駅改札用非接触ICカード
リーダー・ライター





自動車市場

車内照明用蛍光灯(純正仕様)



トラック荷室用蛍光灯(市販用)



平面放電灯



冷陰極放電灯



■ 自動車用蛍光灯具のパイオニア

■ メーカー純正向け蛍光灯、市販向け蛍光灯でトップシェアを獲得

■ 環境への対応、機能面充実(薄型化)による差別化

● 平面放電灯(無水銀・無鉛ガラス仕様)

- 平面発光する無水銀の薄型光源を自社開発
- ダイハツ様・「アトレーワゴン」の室内灯に採用される
- 新たに、トラック荷室灯を製品化

● 冷陰極放電灯(無水銀)

- ホンダ様・「エリシオン」、「ステップワゴン」の室内灯に採用される



- **ネオン変圧器**
- **屋外蛍光灯看板用電子安定器**



ネオン変圧器／屋外用電子安定器

●ネオン変圧器

≫ネオンサインの点灯に必要となる高電圧を発生させるための小型変圧器



巻線式
ネオン変圧器



電子式ネオン変圧器

■巻線式ネオン変圧器で、国内トップシェアを獲得

■生産は、タイ現地法人で行い、販売は、国内のみならず、米国市場を中心に、海外へも展開

●屋外蛍光灯看板用電子安定器

≫蛍光灯点灯時に必要となる電圧の出力と点灯中に流れる電流を適正な値に制御する



屋外蛍光灯看板用電子安定器



■電子安定器を使用することで、蛍光灯の消費電力を、20%～30%削減可能

■長年のネオン変圧器の開発技術をベースに信頼性の高い製品を開発

- 屋外用途という厳しい使用環境に、耐える開発技術がポイント



各種電源機器

バッテリー式フォークリフト用充電器
無停電電源装置

EMS事業

プリント基板実装
小型液晶パネル組立て



各種電源機器 / EMS事業

フォークリフト用充電器



無停電電源装置
(CATV基地局用)



■ フォークリフト用充電器でトップシェアを獲得

■ 国内主要フォークリフトメーカー全てに充電器を納入

■ EMS事業は、プリント基板の実装、小型液晶パネルの組立てを展開

■ 手挿入によるものから、国内最速レベルのチップマウンターによる高密度実装基板まで、幅広い製品・顧客のニーズに対応

レシップ電子(株)工場内
プリント基板実装ライン





目次

1. 会社概要

2. 事業内容

3. 2007年3月期 決算概要

4. 事業戦略の概要

5. 2008年3月期 業績見通し



2007年3月期 決算のポイント

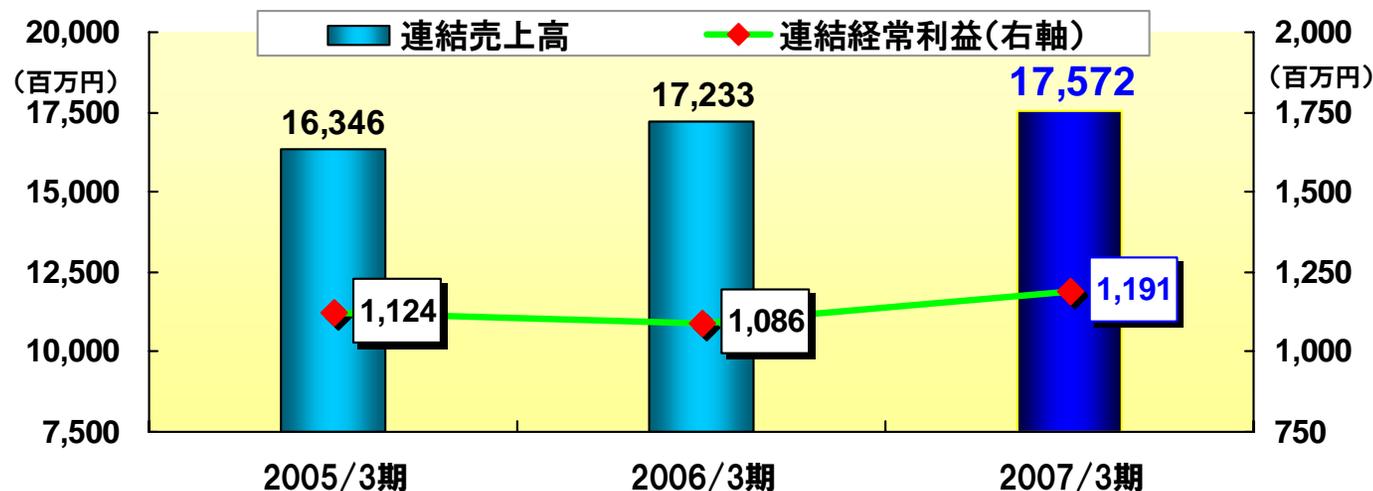
- 売上高は、3期連続増収 
- 利益は、2期ぶりに増益 
- いずれも、過去最高を更新

- 売上高は、前期のバス用運賃箱の大口需要が反落するも、首都圏向けバスICカードシステム、物販共用読み取り端末の納入が進み、対前年増収
- 利益面は、銅価格の高騰が、利益圧迫要因となったが、下期以降のICカード関連製品、物販共用読み取り端末の増産効果で吸収し、対前年増益



2007年3月期 連結業績ハイライト

	2006年3月期		2007年3月期					
	前期実績 (百万円)	構成比 (%)	当初 業績予想 (百万円)	2/14修正 業績予想 (百万円)	当期実績 (百万円)	構成比 (%)	前期比 増減額 (百万円)	前期比 増減率 (%)
売上高	17,233	100.0	16,300	17,300	17,572	100.0	+338	+2.0
売上総利益	4,120	23.9	—	—	4,313	24.5	+193	+4.7
営業利益	1,089	6.3	1,210	1,020	1,189	6.8	+100	+9.2
経常利益	1,086	6.3	1,200	1,000	1,191	6.8	+104	+9.6
当期純利益	622	3.6	720	580	668	3.8	+46	+7.4





セグメント別売上高・営業利益

【売上高】	2006年3月期		2007年3月期			
	前期実績 (百万円)	構成比 (%)	当期実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
輸送機器事業	10,590	61.4	10,747	61.2	+157	+1.5
S&D事業	1,651	9.6	1,692	9.6	+41	+2.5
産業機器事業	4,992	29.0	5,132	29.2	+140	+2.8
連結	17,233	100.0	17,572	100.0	+338	+2.0

【営業利益】	2006年3月期		2007年3月期			
	前期実績 (百万円)	構成比 (%)	当期実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
輸送機器事業	980	83.7	1,187	89.2	+206	+21.1
S&D事業	△35	△3.0	△152	△11.5	△116	—
産業機器事業	225	19.3	296	22.3	+70	+31.4
計	1,170	100.0	1,331	100.0	+160	+13.7
消去・全社	(81)	—	(141)	—	—	—
連結	1,089	—	1,189	—	+100	+9.2



輸送機器事業

輸送機器事業

● バス市場向け製品

(前期比: + 1億22百万円)

▶ バス用運賃箱が前期の大口需要の反動により大幅減

▶ 首都圏バス・鉄道ICカード相互利用サービスの開始に伴い、ICカードシステムが大幅増

● 鉄道市場向け製品

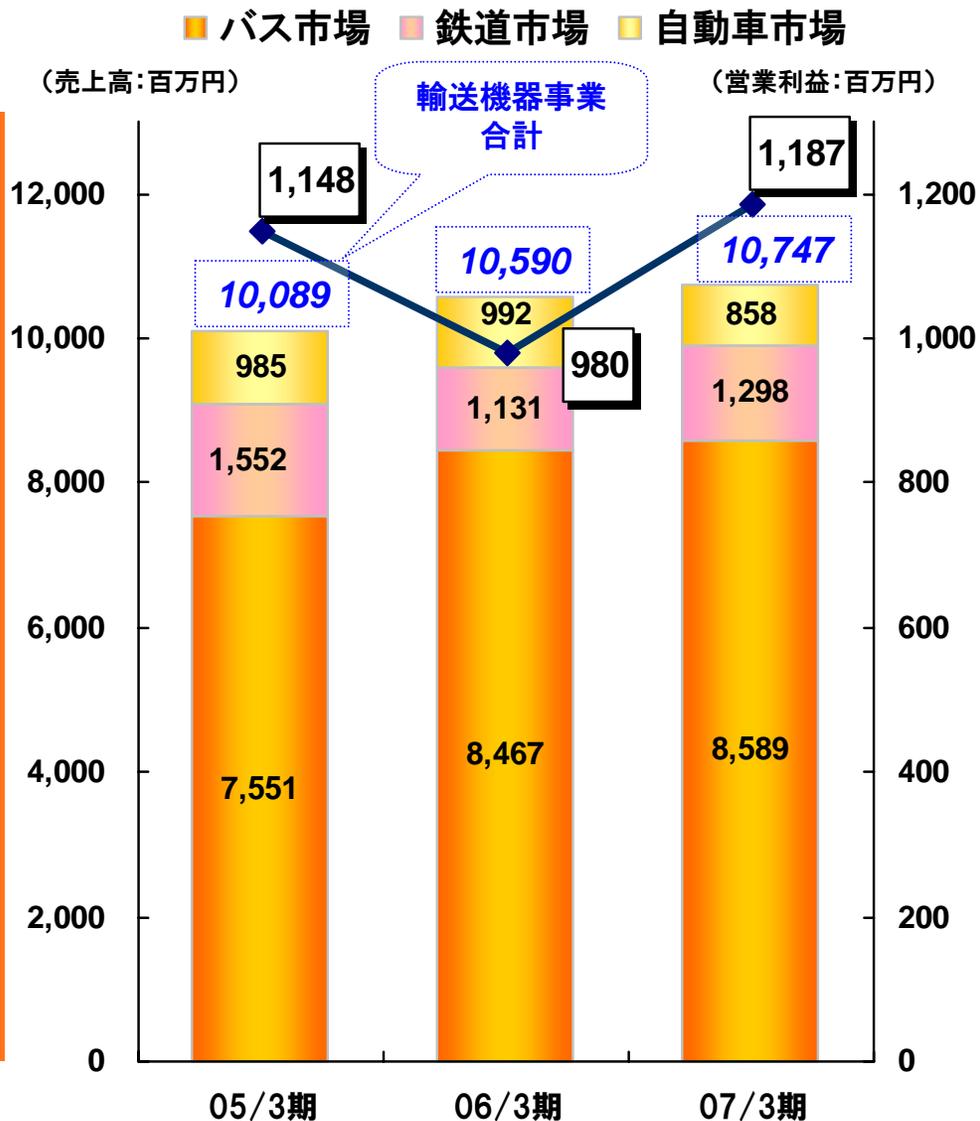
(前期比: + 1億67百万円)

▶ 中国高速鉄道向けの列車用蛍光灯具を納入

● 自動車市場向け製品

(前期比: ▲ 1億33百万円)

▶ 排ガス規制に伴うトラックの買替え需要一巡、海外製品の台頭により、蛍光灯具が低調





S&D事業

● 米国：ネオン変圧器の販売台数拡大

➢ 米国市場・ネオン変圧器販売台数：83,000台
(前期比 +16,000台)

➢ 連結子会社 LECIP.U.S.A.,INC.(現地販売子会社)
は、原価高騰の影響を受け、赤字計上となるも、
赤字幅縮小

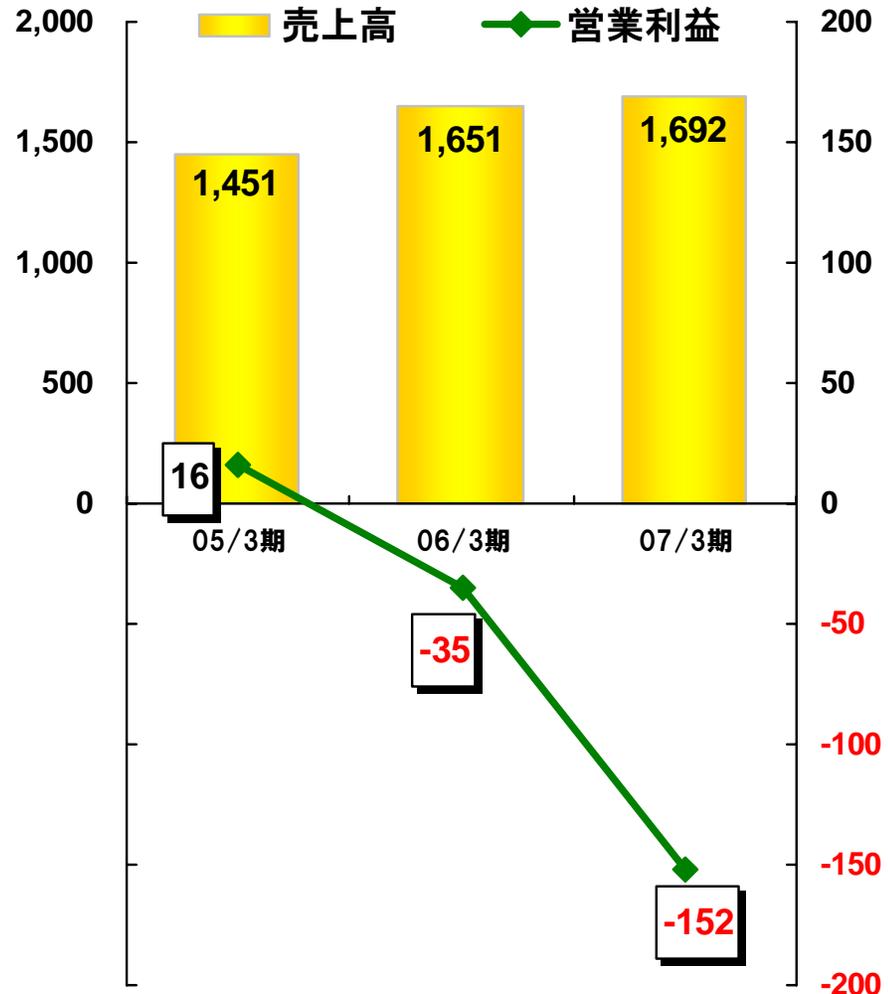
● 国内：ネオンサイン市場の縮小に伴い、販売台数減少

➢ 国内市場・ネオン変圧器販売台数：58,000台
(前期比 ▲13,000台)

● 銅価格の高騰が利益を圧迫

(売上高：百万円)

(営業利益：百万円)





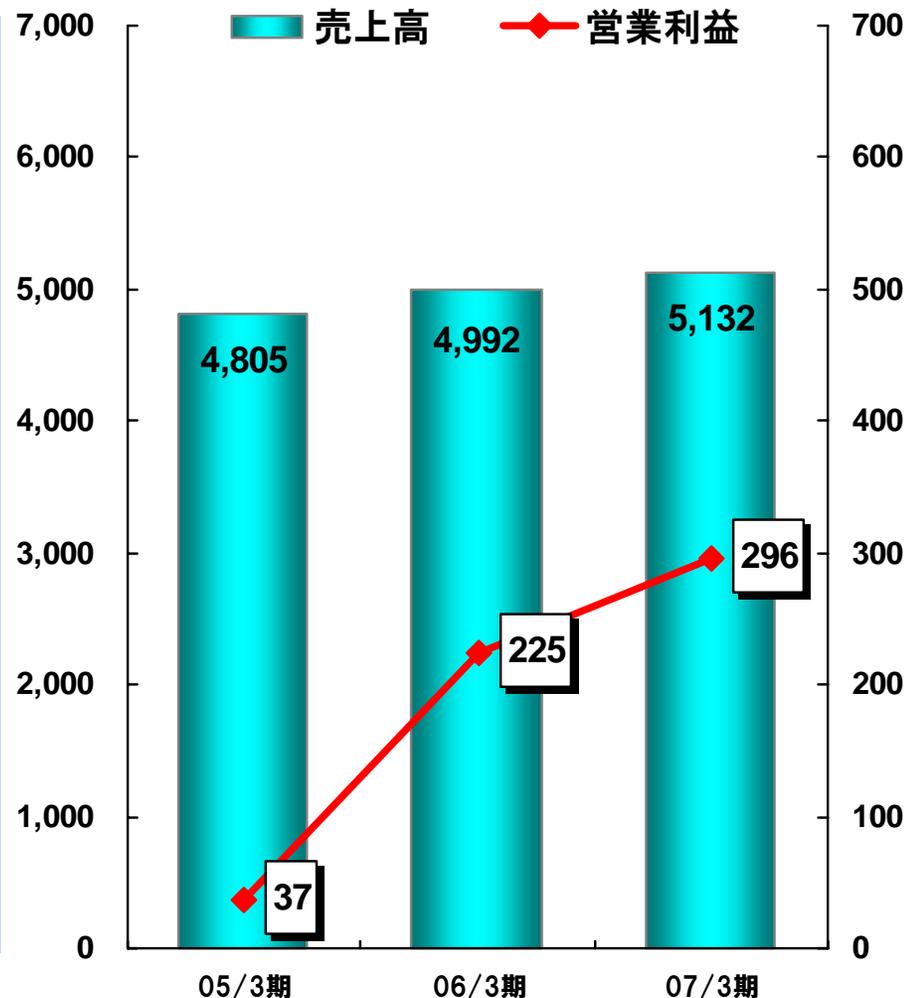
産業機器事業

産業機器事業

- 物販共用読み取り端末の納入開始
 - ▶ 複数規格の電子マネーと携帯クレジットに対応
- 電源機器は、無停電電源装置が減少、フォークリフト用充電器は堅調に推移
- 連結子会社レシップ電子の、プリント基板実装、小型液晶パネル組立てが減少
 - ▶ 前期比: ▲5億20百万円
- 銅価格の高騰が利益を圧迫

(売上高:百万円)

(営業利益:百万円)





2007年3月期 連結損益の状況

【連結】	2006年3月期		2007年3月期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因 (百万円)
売上高	17,233	100.0	17,572	100.0	+338	
売上総利益	4,120	23.9	4,313	24.5	+193	
販売費及び 一般管理費	3,031	17.6	3,124	17.7	+93	人件費:+49、広告宣伝費:+27、 減価償却費:+25
営業利益	1,089	6.3	1,189	6.8	+100	
営業外収益	83	0.5	72	0.4	△11	賃貸収入:+11、為替差益:△17、 持分法による投資利益:△6
営業外費用	86	0.5	70	0.4	△15	為替差損:+15、 新株発行費:△13、雑損:△15
経常利益	1,086	6.3	1,191	6.8	+104	
特別利益	78	0.4	44	0.3	△34	投資有価証券売却益:+21、固定 資産売却益:△39、その他:△18
特別損失	24	0.1	29	0.2	+5	固定資産廃棄損:△8、 その他:+14(THAI LECIP取引先債務 保証和解金:+18)
当期純利益	622	3.6	668	3.8	+46	



2007年3月期 連結貸借対照表の主な増減項目

【連 結】	2006年3月期末		2007年3月期末			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因 (百万円)
流動資産	7,454	70.9	8,529	74.0	+1,075	現預金 : +201 売上債権 : +734
固定資産	3,057	29.1	3,003	26.0	△54	
資産合計	10,512	100.0	11,533	100.0	+1,020	
流動負債	5,512	52.4	6,167	53.5	+655	仕入債務 : +583 短期借入金 : +735 一年以内償還予定社債 : △700
固定負債	1,104	10.5	957	8.3	△146	長期借入金 : △143
負債合計	6,616	62.9	7,124	61.8	+508	
資本合計	3,895	37.1	—	—	—	
純資産合計	—	—	4,408	38.2	—	
負債・資本・純資産合計	10,512	100.0	11,533	100.0	+1,020	



単体決算概要

【単 体】	2006年3月期		2007年3月期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売 上 高	14,174	100.0	15,286	100.0	+1,112	+7.8
売上総利益	3,666	25.9	3,877	25.4	+210	+5.7
営業利益	936	6.6	1,034	6.8	+98	+10.5
経常利益	1,003	7.1	1,111	7.3	+108	+10.8
当期純利益	650	4.6	648	4.2	△1	△0.3



目次

1. 会社概要

2. 事業内容

3. 2007年3月期 決算概要

4. 事業戦略の概要

5. 2008年3月期 業績見通し



新中期経営計画:PG2009

—2007年度～2009年度—
中期経営計画

PG2009

PG=Powerful Growth

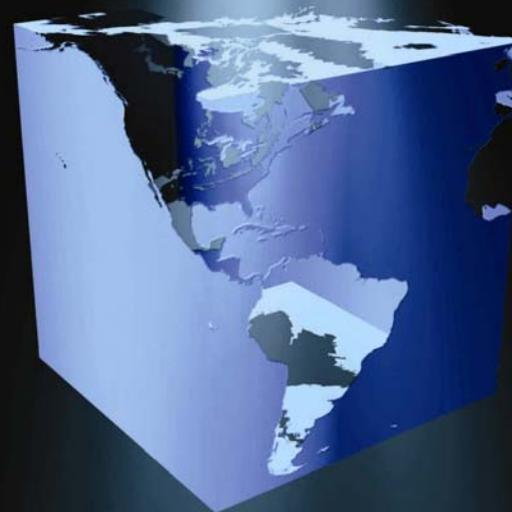
Powerful Growth

重点課題

- 1: 新規基幹商品の育成
- 2: 海外事業戦略の再構築
- 3: コスト競争力の強化

力強い成長力

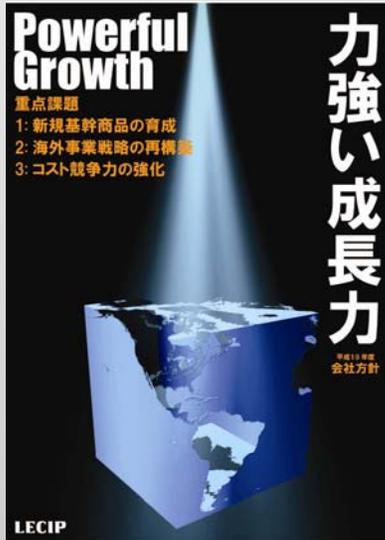
平成19年度
会社方針



LECIP



重点課題



「新規基幹商品の育成」

- ・【GP2006】で開発した新商品の継続的拡販
- ・ポスト【PG2009】を睨んだ、新たな商品開発

「力強い成長力」

「コスト競争力の強化」

- ・原価低減活動の継続
- ・一般経費の削減

「海外事業戦略の再構築」

- ・米国向けネオン変圧器の拡販
- ・バス市場向け製品の拡販

Powerful Growth



経営目標

【2006年度(2007年3月期)実績】

【2009年度(2010年3月期)目標】

※()内は、06年度対比

■ 売上高 : 175億72百万円 ⇒ **200億00百万円**
(+24億27百万円 +13.8%)

■ 経常利益 : 11億91百万円 ⇒ **20億00百万円**
(+ 8億08百万円 +67.9%)

■ 経常利益率 : 6.8% ⇒ **10.0%**
(+ 3.2ポイント)



新中期経営計画:PG2009

セグメント別売上高構成





事業別の戦略

【事業環境】

■ 輸送機器事業

- バス利用客の減少
- 利便性向上に向けた取り組み
- 交通系ICカードの拡大

■ S&D事業

- 国内ネオンサイン市場の縮小
- LED、LCD表示が増加傾向
- 銅価格高騰の影響

■ 産業機器事業

- 物販分野で広がる電子決済
- 電動車の市場拡大
- 小型液晶パネルの海外生産シフト

【重点戦略】

- ICカード事業の強化・拡大
- OBC(On Bus Computer)の拡販
- 薄型運賃箱の投入

- ネオン変圧器の海外市場への拡販
- 新規商品の拡販
(電子安定器、平面放電灯、LED電源)

- 物販用共通読取端末の拡販
- 充電器の用途拡大
- EMS事業の強化・推進

持続的成長



ICカード事業の強化・拡大

◆ ICカードシステムの全国的な拡販

- 首都圏バス・鉄道ICカード相互利用化に係わるバス用システムの納入推進
- 引き続き、全国的な普及拡大が見込まれる
- バスカードシステムのパイオニア、これまでの実績



全国的な拡販を展開し、トップメーカーとして強固な地位を築く

【主な納入実績】

道北バス様(北海道)、山梨交通様(山梨県)、東急トランセ様(東京都)、
 東急電鉄様:世田谷線(東京都)、首都圏:PASMO導入事業者様、
 遠州鉄道様(静岡県)、富山ライトレール様(富山県)、北陸鉄道様(石川県)、
 岐阜バス様(岐阜県)、近江鉄道様(滋賀県)、奈良交通様(奈良県)、
 阪急バス様(大阪府)、大阪空港交通様(大阪府)、神姫バス様(兵庫県)、
 岡山地区共通:岡山電気軌道様、両備バス様、下津井電鉄様、
 ことでんバス様(香川県)、伊予鉄道様(愛媛県)、宮崎交通様(宮崎県)、
 鹿児島地区共通:いわさきコーポレーション様、林田バス様





OBC(On Bus Computer)システムの拡販

⇒OBC(オン・バス・コンピュータ):パソコンと同等の制御基板を内蔵した液晶表示装置
OSにWindows®XP Embedded(XPe)を採用、様々な表示コンテンツ、内蔵のパソコン機能を活かした効率的オペレーション

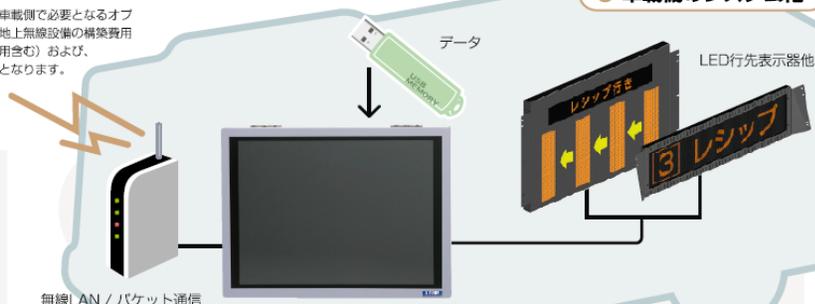
- 車載機器のデータを一括管理・集中制御 → バス会社の運行業務の効率化
- 車外と車内の機器をオンライン化 → リアルタイムでのデータ更新、ニュース配信
- 液晶表示器を使った動画広告 → バス会社の広告収入



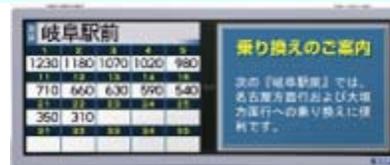
連動化によるメリットを活かした各機器の拡販

● 地上とのネットワーク化

無線対応の場合、車載側が必要となるオプション費用の他、地上無線設備の構築費用(通信環境調査費用含む)および、通信費用等が必要となります。



● 車載機のシステム化





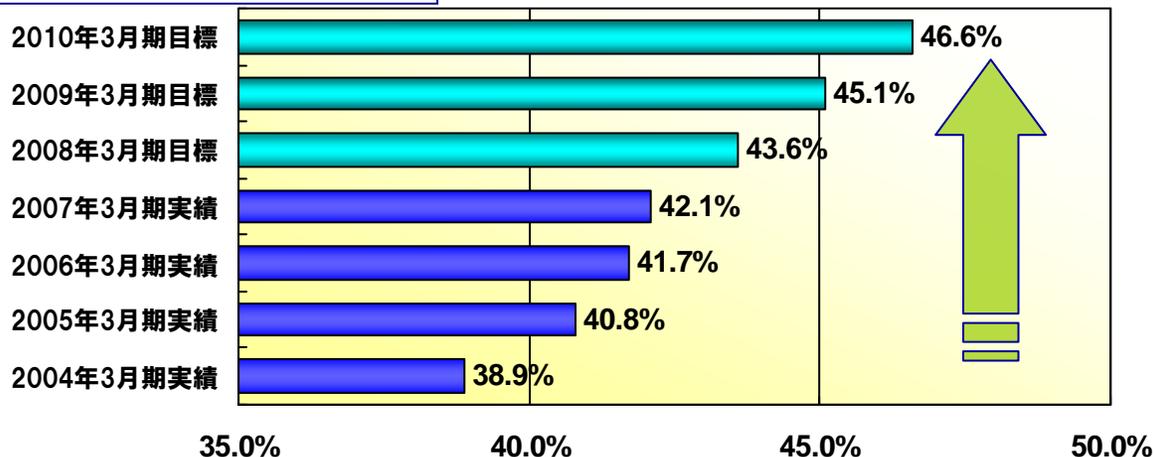
バス用運賃箱の拡販

◆ 薄型運賃箱の投入による差別化戦略

- バスの車内という限られたスペース → 運賃箱の薄型化に対するニーズ
- 新モデルの薄型運賃箱は、従来の機能そのままに、**20%以上の薄型化・軽量化を実現**

運賃箱のシェア拡大を図る

バス用運賃箱のシェア(当社推計)



従来型



新モデル:薄型運賃箱





S&D事業の戦略 (1)

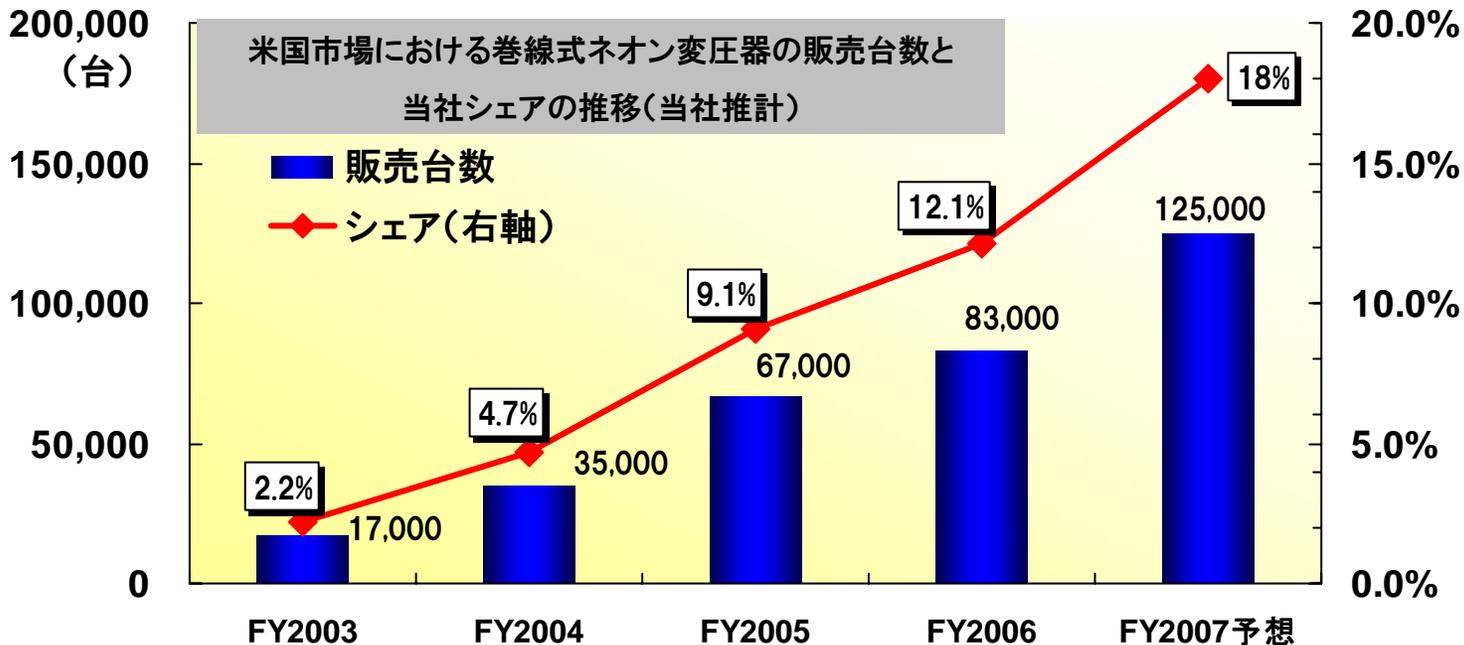
■ ネオン変圧器の海外市場への拡販

◆ 米国におけるネオン変圧器のシェア拡大

- 国内の約7倍の規模を誇る米国市場
- 品質の高さが評価され、着実に販売台数を拡大



巨大市場での拡販戦略推進





S&D事業の戦略 (2)

事業領域の拡大—新規基幹商品育成—

◆ 屋外蛍光灯看板用電子安定器の拡販

- 省エネルギー・環境対応
 - 従来の銅鉄型安定器に比べ、消費電力**20%~30%削減**
- 他社製品との差別化
 - ネオン変圧器の充填技術を活かし、**優れた耐久性**を実現



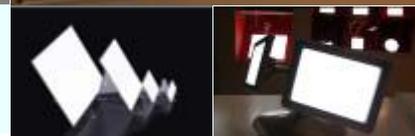
看板灯業界への提案を継続

◆ 平面放電灯の多用途展開

- 自社開発の**薄型光源**
- 大型のA3サイズを開発



サインやディスプレイ用途など新たな市場を開拓





S & D事業の戦略 (3)

■ ネオンの用途開拓と、拡大続くLEDへの対応

◆ 調光コントローラ・システムの提案

- ネオンの新たな使われ方を提案
- 電源・光源・調光コントローラをパッケージ化し、導入も運用も容易に



潜在需要の開拓

◆ 屋外用LED電源の開発

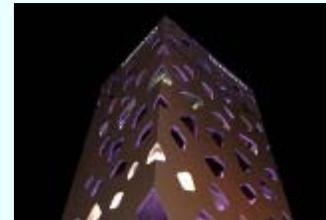
⇒ 商用電源(交流・100V)で、LEDを点灯させるためには、電圧を下げるのと同時に、交流を直流に変換する必要がある、電圧と電流の制御のためのLED電源が必須アイテムとなる。

- 新たなサイン光源として普及が進むLED
これまでの電源開発技術、ネオン変圧器の充填技術を活かし、屋外用のLED電源を開発



今後も拡大が見込まれるLEDサインへの対応

東京・銀座
MIKIMOTO Ginza2ビル



韓国・ソウル
三星火災保険ビル



ライティング・フェア2007当社出展ブース



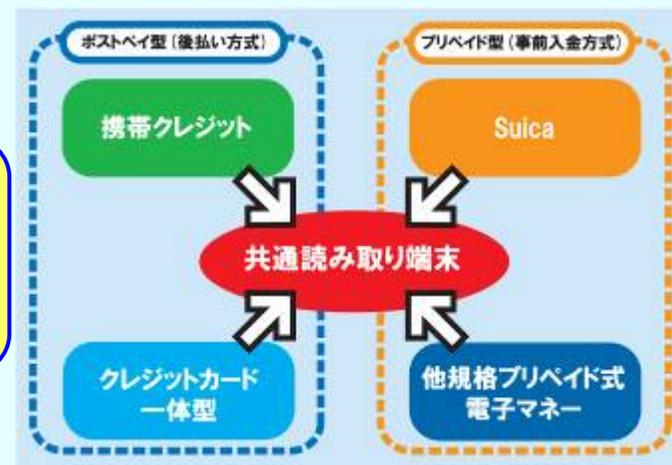
ICカード事業の多用途展開

◆物販共用読み取り端末という新たなビジネス展開

- 物販分野で広がる電子決済
 - 規格が異なる複数の電子マネーや携帯クレジットに対応する**共用読み取り端末のニーズ**が高まる。
- これまでの交通用途向けICカード関連機器の納入実績
- 香港での物販用途向けICカードリーダー/ライタの納入実績



「Suica電子マネー」・
「他規格電子マネー」・「携帯クレジット」対応
共用読み取り端末の、共同開発パートナーに



※「Suica」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。



■ 充電器の用途拡大を推進

- バッテリー式フォークリフト用充電器で、トップシェアを獲得



これまでのノウハウを活かし、小型充電器の分野で、他への用途展開を検討



■ プリント基板実装事業の強化・推進

- 設備面の充実により、競争力を維持・強化

（品質、生産性、顧客ニーズへの対応）





目次

1. 会社概要

2. 事業内容

3. 2007年3月期 決算概要

4. 事業戦略の概要

5. 2008年3月期 業績見通し



2008年3月期 連結業績予想

2008年3月期 連結業績予想 【07年3月期実績との比較】	2007年3月期 実績 (百万円)	構成比 (%)	2008年3月期 業績予想 (百万円)	構成比 (%)	前期比 増減額 (百万円)	前期比 増減率 (%)
売上高	17,572	100.0	17,770	100.0	+197	+1.1
営業利益	1,189	6.8	1,200	6.8	+10	+0.9
経常利益	1,191	6.8	1,190	6.7	△1	△0.1
当期純利益	668	3.8	690	3.9	+21	+3.1
E P S (円)	104円68銭	—	107円97銭	—	+3円29銭	+3.1

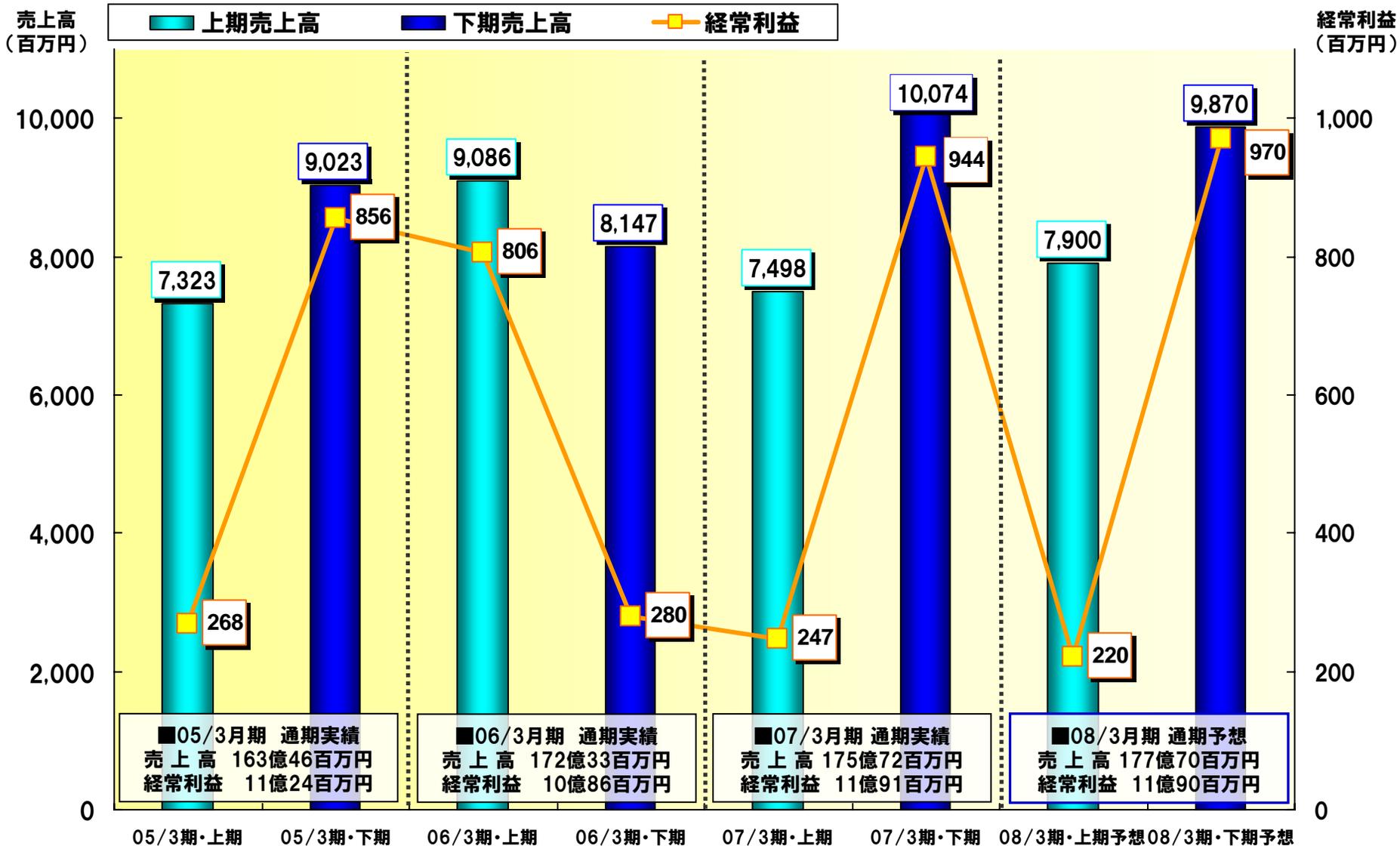
【売上高:微増の見込み】

- ・ レシップ電子の液晶パネル組立てなどが大きく減少
- ・ バス用ICカードシステム、物販共用読み取り端末の売上は堅調に推移
- ・ バス用液晶表示器、米国向けネオン変圧器、屋外看板用電子安定器などの売上増

【営業利益:微増、経常利益:前期並み、当期純利益:増益の見込み】

- ・ 銅価格の高止まりも懸念されるが、米国での数量増、原価低減などでカバー
- ・ 前期に計上されたTHAI LECIPの特別損失が消える

上期・下期別業績の推移





2008年3月期 単体業績予想

2008年3月期 単体業績予想 【07年3月期実績との比較】	2007年3月期 実績 (百万円)	構成比 (%)	2008年3月期 業績予想 (百万円)	構成比 (%)	前期比 増減額 (百万円)	前期比 増減率 (%)
売上高	15,286	100.0	15,300	100.0	+13	0.1
営業利益	1,034	6.8	1,050	6.9	+15	1.5
経常利益	1,111	7.3	1,150	7.5	+38	3.5
当期純利益	648	4.2	660	4.3	+12	1.8
E P S (円)	101円41銭	—	103円27銭	—	+1円86銭	1.8



■ 配当方針

- 安定配当の維持・継続
- 配当性向は、内部留保とのバランスを図りながら、今後、20%を目標に高めていく

2006年3月期実績	2007年3月期予想	2008年3月期予想
12円50銭	15円00銭	15円00銭
連結配当性向:13.0%	連結配当性向:14.3%	連結配当性向:13.9%
<ul style="list-style-type: none"> ・普通配当:10円00銭 ・記念配当: 2円50銭 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期の記念配当:2円50銭を落とすことなく、普通配当に組み込み ・増益決算を勧案し、2円50銭の増配 ⇒普通配当:15円00銭 	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点での業績予想を勧案し、普通配当:15円00銭を維持



LECIP

レシップ株式会社

【資料お問合せ先】

レシップ株式会社

・IR担当役員：取締役管理本部長 山口 芳典

電話番号：(058)323-7647

・IR担当者：総務部兼経営管理部 野村 武史

電話番号：(058)324-3121

【将来予測について】

本資料のうち業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。